

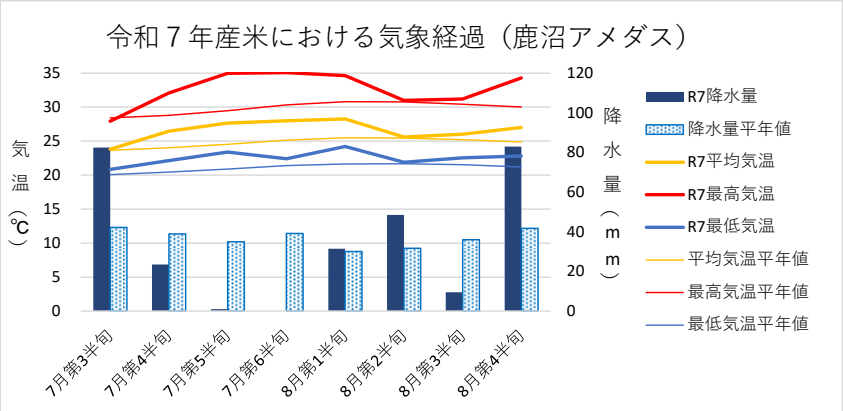
令和7(2025)年産 水稻生育診断速報第5号

令和 7(2025)年8月29日
上都賀農業振興事務所

- 帯緑色もみ率 10%から収穫を始め、3%までに終わらせましょう。(刈り遅れに注意！)
- 収穫後は速やかに秋耕し、稲わらや稲株の早期分解を図りましょう。

気象経過(鹿沼アメダス)

2025 年7月第3～8月第4半旬を通して気温は高く、降水量は7月第5、6半旬で少なくなったものの、期間を通じて 95%と概ね平年並に推移しました。(8月21日現在)



調査結果の概要(コシヒカリ)

過去の平均と比べ、穂長は「並」、穂数は「やや少なく」なりました。それ以外は、ほ場間差が大きくなりました。

(調査データ)

表 令和7年産生育診断は調査結果と過去の平均との比較

調査地点	項目	稈長	穂長	穂数	1株穂数	1穂粒数	登熟歩合	葉色板		出穂期
		cm	cm	本/m ²	本/株	粒/穂	%	葉色板	SPAD	
日光市木和田島	今年	94.8	20.2	337	17.8	102.2	40.1	2.9	32.1	7/21
	過去5年平均	91.7	19.8	366	18.9	94.9	61.8	3.0	32.3	7/25
	平均値との差	3.1	0.4	-29	-1.1	7.3	-21.7	-0.1	-0.2	-4
鹿沼市久野	今年	83.7	20.7	276	17.2	81.0	66.7	2.2	24.9	7/19
	過去4年平均	87.2	20.2	357	21.4	89.6	53.4	3.2	33.9	7/22
	平均値との差	-3.5	0.5	-81	-4.2	-8.6	13.4	-1.0	-9.0	-3

※鹿沼市久野はR2～5の4カ年平均

今後の技術対策

- (1) ほ場をこまめに見回り、収穫適期を逃さないようにしましょう。
帯緑色もみ率10%から収穫を開始し、3%までに終了させ、刈り遅れにならないよう注意が必要です。

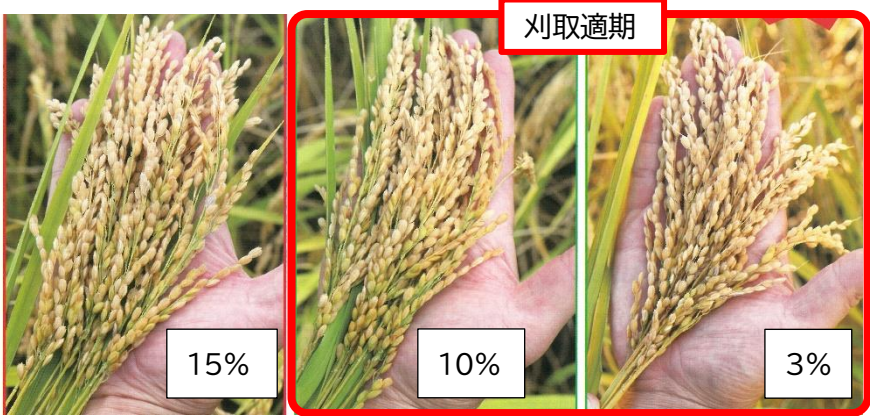


図 帯緑色もみ率の目安

- (2) 収穫後は速やかに秋耕を行いましょう。秋耕は稲わらや稲株の分解を早めることに加え、ひこばえ(再生稲)を抑えます。
ひこばえ(再生稲)は、ウンカやカメムシ類など害虫の越冬前の寄生場所になるので注意しましょう。

※ 気象庁発表の1ヶ月予報で、気温は高いとされています。熱中症に十分気をつけましょう。



農作業中の熱中症に注意しましょう

- ・こまめな休憩、水分、塩分補給を行いましょう
- ・単独作業は避け、一人作業の場合は携帯電話を持ちましょう
- ・体調不良を感じたら、すぐに作業を中断し、涼しいところで休みましょう